

2009 年度受託研究概要報告

# 大規模住宅地開発事業における環境デザインモデルについての研究

## 研究メンバー

- 遠藤剛生 デザイン学部環境・建築デザイン学科教授
- 小玉祐一郎 デザイン学部環境・建築デザイン学科教授
- 長濱伸貴 デザイン学部環境・建築デザイン学科准教授

## 委託者

株式会社兼北

## 研究概要

大規模住宅地開発事業（社谷計画）において、都市環境デザイン（パッシブデザインなど）を具現化するためのマスタープラン、緑地計画、戸建住宅地計画、共同住宅地計画、公園計画などの基本構想への提言および監修。

## 研究成果

本研究プロジェクトは、神戸市垂水区における約 21ha の住宅地開発計画を対象に、環境テクノロジーを計画・設計プロセスに導入した新しい都市環境デザイン手法の一つの試みである。今日の時代の精神とも言える四季の自然の豊かさと変化を享受できる街づくりモデルに挑戦した。これらの環境テクノロジーを基軸とした都市デザイン手法や自然環境の力を積極的に取り入れた計画手法は、これからの時代の新たな計画設計手法のプロトタイプとなると考える。また、本研究プロジェクトは、神戸芸術工科大学・神戸大学の共同研究チームによって行った。



図1 全体マスタープラン案

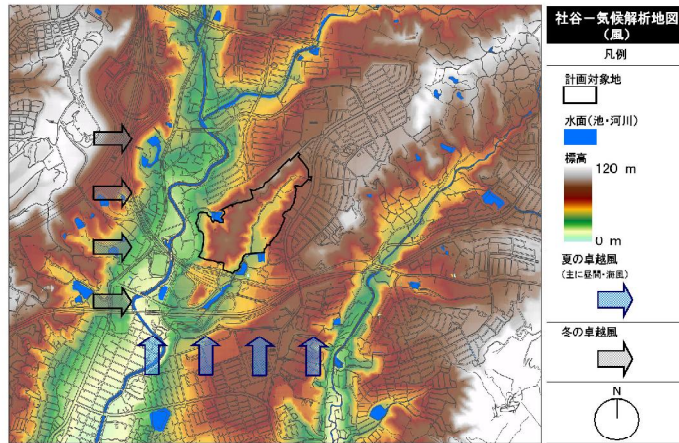


図2 計画地域の気候解析図

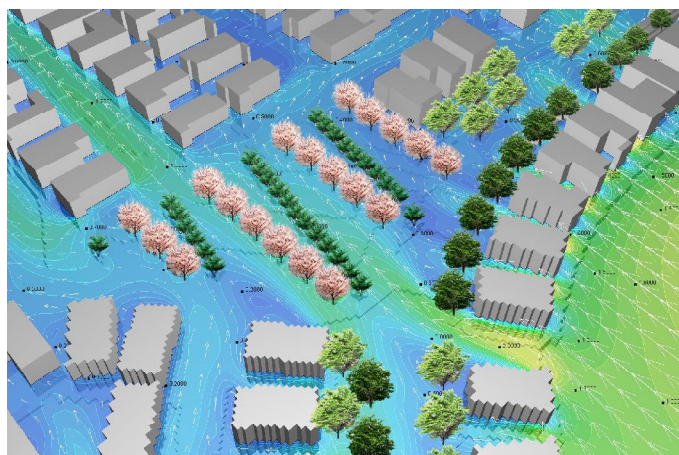


図3 公園の風シュミレーション図



図4 自然環境を活用した住宅配置